

2018年度～更なる活躍を目指して～

2017年度はサッカー部の偉業達成(インターハイ優勝・高校選手権準優勝)によって校内の行事や諸活動が盛り上がっただけでなく、学業面でも実力を発揮して進路実績が向上した年となりました。高大一貫教育を目指す流通経済大学への進学は卒業生の25%にあたる80名を数え、特別奨学生試験には4名が合格しました。また、旧帝大を含む国公立大学や難関私立大学にも数多く合格し、既卒生を含めると東大や東工大の合格者も出ました。中高一貫校ではない私立高校の実績としては目を引く結果となり、スポーツだけではなく学業面での評価を高めた年でもありました。

2018年度は383名の生徒が入学し、今年の在籍生徒数は昨年より63名多い1,160名(男子655・女子505)となり、各学年すべて10クラス編成(I類6・II類2・III類2)でスタートしました。

部活動はますます活発で、ラグビー部は春の全国高校選抜大会でベスト4、サッカー部は返り咲いたプレミアリーグで5戦無敗の好発進、野球部は春季県大会ベスト8で夏季大会のシード権を獲得しました。有望選手が入部した駅伝部などの活躍も楽しみです。応援を盛り上げるチアリーディング部の演技も上達し、文化部では吹奏楽

部や放送部、書道部などの活躍が期待されます。今年も応援、ご支援よろしくお願いたします。

一方、グローバル化の進行、大学入試での英語4技能の重視や検定試験導入への対策、高大接続改革などに向け、国際交流を推進させる取り組みや学習対策にも力を入れています。1999年から続いているフランス・オンブローザ校との交換留学、今年新たに始めるニュージーランドでの語学研修、海外からの留学生の受け入れ、流通経済大学を訪れる南オレゴン大学の研修生との交流もさらに進め、本校生徒が良い刺激を受けることを期待しています。また、今年の入学生からはIII類(特進)コース生徒全員にノートパソコンを所持してもらい、パソコンでの映像授業等を行っています。I・II類コースの生徒に対しても、早期にICT教育の充実を図る予定です。

今後も、流通経済大学の付属高校としての建学の理念を大切にしながら、本校独自の幅広い教育を展開し、国際社会で活躍できる社会有為の人材の育成に努めてまいりたいと思います。皆様方の温かいご理解とご支援をよろしくお願いたします。

校長 林 静男



チアリーディング部(校舎全景)



ラグビー部 2018年全国高校選抜大会ベスト4

国際大会での優勝を母校に報告

第96回全国高校サッカー選手権(2017年度)の優秀選手を中心に構成された日本選抜チームは、第56回デュッセルドルフ国際ユースサッカー大会(ドイツ)に出場し、4月2日に5年ぶり2度目の優勝を果たしました。本校からは、宮本優太(MF)・菊地泰智(MF)・薄井覇斗(GK)の3選手が選出。全員がレギュラーに抜擢され全試合にフル出場して大活躍し、日本の優勝に大きく貢献しました。3人ともプロ選手になって活躍する夢を抱いて流通経済大学に進学していますので、今後の大学リーグや各種大会での活躍が楽しみです。





1月27日、都内のホテルにおいて、流通経済大学および付属柏高等学校サッカー部の「優勝祝賀会」が開催されました。本学サッカー部は、平成29年度第66回全日本大学サッカー選手権大会において優勝を成し遂げ、また付属柏高等学校サッカー部は、平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会で優勝を果たし、さらに第96回全国高校サッカー選手権大会において準優勝するなど優秀な成績を収めました。

本学の野尻俊明学長、付属柏高等学校の林静男校長の挨拶で始まった祝賀会では、公益社団法人日本サッカー協会会長の田嶋幸三様、一般財団法人全日本大学サッカー連盟顧問・学校法人国士館理事長の大澤英雄様、公益財団法人日本サッカー協会理事 暁星高等学校サッカー部監督の林義規様、衆議院議員の櫻田義孝様、龍ヶ崎市長の中山一生様、公益社団法人千葉県サッカー協会副会長兼専務理事の福永廣幸様よりご祝辞をいただきました。

また、本学サッカー部の中野雄二監督、付属柏高等学校サッカー部の本田裕二郎監督からの優勝報告、選手、スタッフの紹介、さらにリーグに内定した選手の紹介もあり、多くの方々の支えに感謝し、日々練習を積み重ねた選手たちの笑顔にさらなる活躍を期待する場となりました。

優勝祝賀会開催！

流通経済大学・流通経済大学付属柏高等学校サッカー部